

府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略（改定案）新旧対照表

改正後	改定前
府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略	府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略
平成 27 年 10 月策定 平成 28 年 ●月改定	平成 27 年 10 月
0. 基本的な考え方 (略)	0. 基本的な考え方 (略)
1. 基本目標 (略)	1. 基本目標 (略)
2. 基本的方向 (略)	2. 基本的方向 (略)
3. 具体的な施策と重要業績評価指標 (略)	3. 具体的な施策と重要業績評価指標 (略)
(1) 広島都市圏で一番の子育て支援	(1) 広島都市圏で一番の子育て支援
①「孫育て」による保育の充実 (略)	①「孫育て」による保育の充実 (略)
②子どもに遊びを教える等のボランティア活性化	②子どもに遊びを教える等のボランティア活性化

(略)

③児童センター等の子どもの居場所整備

児童センター等が設置される（仮称）北部総合福祉施設について、子どもに遊びを教える等のボランティア活動のスペースが提供されるよう、さらにはボランティア等の活動拠点ともなるよう整備を推進し、子どもの居場所を確保します。これにより子どもが自主的に活動している間に、保護者には自身の時間を提供するとともに、子育て家族同士の交流を深め、子育て世代が多様な暮らしの充実感を得られる環境づくりを推進します。

<重要業績評価指標（KPI）>

子どもに遊びを教える等のボランティア活動の年間回数
8回（現状年3回）【再掲】

④「放課後児童クラブ（留守家庭児童会）」の充実

「放課後児童クラブ（留守家庭児童会）」について、スペースの整備等の実施環境整備を進め、その進捗に応じて可能な範囲で順次時間帯や対象学年の拡充を図り、保護者が働きながらであっても安心して子育てしやすい環境づくりを推進します。

<重要業績評価指標（KPI）>

「放課後児童クラブ（留守家庭児童会）」利用児童数 647人（2015年度（平成27年度）当初 463人）

(略)

③児童センター等の子どもの居場所整備

児童センター等が設置される（仮称）北部総合福祉施設の整備を推進し、子どもに遊びを教える等のボランティア活動のスペースが提供を含め、子どもの居場所を確保します。これにより子どもが自主的に活動している間に、保護者には自身の時間を提供するとともに、子育て家族同士の交流を深め、子育て世代が多様な暮らしの充実感を得られる環境づくりを推進します。

<重要業績評価指標（KPI）>

子どもに遊びを教える等のボランティア活動の年間回数
8回（現状年3回）【再掲】

⑤「放課後子供教室」の取組強化

放課後や週末等に小学校の教室等を活用し、地域住民や大学生等のボランティアの参加を得て、子どもたちに学習支援やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動の場を提供する「放課後子供教室」について、定員増や開催日数増の取組強化を図ります。これにより子どもの居場所が確保されるとともに保護者には自身の時間が確保され、子育て世代が多様な暮らしの充実感を得られる環境づくりを推進します。

＜重要業績評価指標（KPI）＞

「放課後子供教室」参加希望児童のうち参加できる児童の割合約 88%（2015 年度（平成 27 年度）約 66%）

⑥質の高い教育の提供

（略）

＜重要業績評価指標（KPI）＞

学校の年間の県大会出場件数 1 割増（2014 年度（平成 26 年度）41 件）

⑦地域の国際力を活かした小中学校英語教育の充実

県内唯一の国際科を有する広島県立安芸府中高等学校の教員や留学生を含む生徒、海外に事業展開する企業OBによる英語指導といった府中町の国際力の活用に加え、ネイティブの外国語指導助手の配置拡大等により児童生徒の英語による高いコミュニケーション能力の育成に取り組みます。あわせて英語検定受検費用を町が負担することで、児童生徒が

④質の高い教育の提供

（略）

＜重要業績評価指標（KPI）＞

学校の年間の県大会出場件数 1 割増（2014 年度 41 件）

グローバル社会に挑戦する高い目標意識を持つことができ、子育て世代が「府中町の学校に子どもを通わせたい」と意識するような質の高い教育環境づくりを推進します。

<重要業績評価指標（KPI）>

中学校卒業時の英検３級以上取得率 50%（2014 年度（平成 26 年度）卒業生 13.2%）

⑧子どもの医療費負担の支援

子どもの医療費の助成制度をより幅広い子育て世代が利用できる制度に改善することにより、子どもの健康増進を図るとともに、医療を容易に受けられ安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進します。

<重要業績評価指標（KPI）>

助成制度を利用できる子どもの推定数 5,629 人（2015 年（平成 27 年）3 月末時点 3,242 人）

⑨子どもの感染症予防の推進

子どもが感染しやすい感染症や妊娠にあたって予防が必要な感染症について、学校教育等を通じた知識の普及や新たな予防接種の負担軽減策を講じることで感染件数を低下させ、子どもの健康を確保するとともに、子育て世代が抱える子どもの健康不安の軽減を図ります。

<重要業績評価指標（KPI）>

成人が感染することがあまりない感染症（咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、

⑤子どもの感染症予防の推進

子どもが感染しやすい感染症について、学校教育等を通じた知識の普及や新たな予防接種の負担軽減策を講じることで感染件数を低下させ、子どもの健康を確保するとともに、子育て世代が抱える子どもの健康不安の軽減を図ります。

<重要業績評価指標（KPI）>

成人が感染することがあまりない感染症（咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、

突発性発疹、百日咳、風疹、ヘルパンギーナ、麻疹、流行性耳下腺炎、RS ウイルス感染症）の年間発生件数 1 割減（2013 年（平成 25 年）384 件、2014 年（平成 26 年）374 件） ⑩不妊治療支援による希望する出産の実現 <u>特定不妊治療（体外受精や顕微受精）に要する費用の一部を助成する制度を創設し、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担及び精神的負担の軽減を図り、安心して希望する数の子どもを産み育てられる環境づくりを推進します。</u> <u><重要業績評価指標（KPI）></u> <u>子育て世代（20～39 歳）女性 100 人あたり 0 歳児数 9.23 人</u> （２）子ども連れ家族の生活利便の向上 ①子ども連れ家族が移動しやすい歩行者空間整備（略） ②子育て支援店舗等（おむつ交換台設置店など）の支援（略） ③公共施設等の子ども連れ利用の利便性向上（略） ④その他子ども連れ生活利便の向上	突発性発疹、百日咳、風疹、ヘルパンギーナ、麻疹、流行性耳下腺炎、RS ウイルス感染症）の年間発生件数 1 割減（2013 年 384 件、2014 年 374 件） （２）子ども連れ家族の生活利便の向上 ①子ども連れ家族が移動しやすい歩行者空間整備（略） ②子育て支援店舗等（おむつ交換台設置店など）の支援（略） ③公共施設等の子ども連れ利用の利便性向上（略） ④その他子ども連れ生活利便の向上
---	---

(略) ⑤公共交通の利便性向上 (略) <重要業績評価指標 (KPI) > 「つばきバス」の年間利用者数、2014 年度(平成 26 年度) 実績 (187,298 人) の 2 % 増 (191,000 人) (3) 子どもに伝える地域の魅力の向上 (略)	(略) ⑤公共交通の利便性向上 (略) <重要業績評価指標 (KPI) > 「つばきバス」の年間利用者数、2014 年実績 (187,298 人) の 2 % 増 (191,000 人) (3) 子どもに伝える地域の魅力の向上 (略)
---	--